

昭和十六年十一月十一日
 七時半隊昇、修攻ノ電信員総員
 鹿屋空ニ地上射撃ニ出タ。久シ振リノ射撃、
 三十発デ零モ居ル。六発三十四点デマア上ノ方
 ダッタ。練公当時ニ比較スルト非常ニ呑氣ナ操法通
 リデ成ク簡略ダ。十時半頃終了帰隊。
 午後ハ飛行作業。
 爆撃発射運動ノ飛行機が出タ。機銃ノ手入デ
 午後一杯。兵器ハ我等ノ魂シイダ。磨ケ磨ケ……。
 今日一日モカクテ終レリ。進ミ行ク月日ニツレテ我等ノ
 艦隊モ経験ガ多ク成ル。

昭和十六年十一月十二日
 午前飛行作業、爆撃、発射運動
 午後、飛行作業
 スベア配置デハ全ク飛行モ出来ナイ。毎日地上ノ
 勤務員ト云フ調子デ有ル。
 夕食後入湯。十二分隊搭乗員ノ(1字あり?)暮會(宴会?)。
 鹿屋ノ翠光園デ七時ヨリ分隊長、
 分隊士モ出席サレテ、酒ニ朗カナ氣分ニ成ツタ。
 練習生出テ最初ノ会デ浩然ト酒モ飲ンダ。
 八時半頃、皆上氣分ニ成ル……、全ク上下ナキ艦隊
 ノ會デ或ル。九時頃分隊士ノ自動車デ隊ニ
 歸ル……。

昭和十六年十一月十一日

於笠ノ原飛行場

七時半隊昇、艦攻ノ電信員総員

鹿屋空ニ地上射撃ニ出タ。久シ振リノ射撃、

三十発デ零モ居ル。六発三十四点デマア上ノ方

ダッタ。練公当時ニ比較スルト非常ニ呑氣ナ操法通

リデ成ク簡略ダ。十時半頃終了帰隊。

午後ハ飛行作業。

爆撃発射運動ノ飛行機が出タ。機銃ノ手入デ

午後一杯。兵器ハ我等ノ魂シイダ。磨ケ磨ケ……。

今日一日モカクテ終レリ。進ミ行ク月日ニツレテ我等ノ

艦隊モ経験ガ多ク成ル。

昭和十六年十一月十二日

於笠ノ原飛行場

午前、飛行作業。

爆撃、発射運動

午後、飛行作業

スベア配置デハ全ク飛行モ出来ナイ。毎日地上ノ

勤務員ト云フ調子デ有ル。

夕食後入湯。十二分隊搭乗員ノ(1字あり?)暮會(宴会?)。

鹿屋ノ翠光園デ七時ヨリ分隊長、

分隊士モ出席サレテ、酒ニ朗カナ氣分ニ成ツタ。

練習生出テ最初ノ会デ浩然ト酒モ飲ンダ。

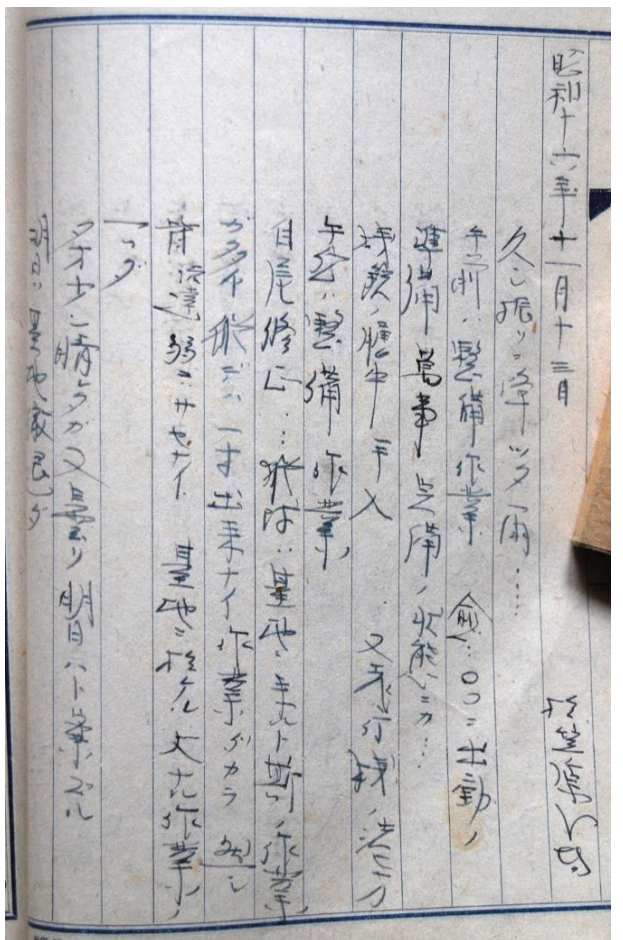
八時半頃、皆上氣分ニ成ル……、全ク上下ナキ艦隊

ノ會デ或ル。九時頃分隊士ノ自動車デ隊ニ

歸ル……。



鹿屋・翠光園での12分隊宴会写真
「全ク上下ナキ艦隊ノ會」



昭和十六年十一月十三日

於笠ノ原飛行場

久シ振リニ降ツタ雨……。

午前ハ整備作業。 愈々〇〇ニ出動ノ

準備萬事完備ノ状態ニカ……。

機銃ノ膳中手入。 又飛行機ノ洗ヒ方

午後ハ整備作業。

自差修正……、艦隊ハ基地ニ来ルト斯ノ作業

ガ多イ。 艦デハ一寸出来ナイ作業ダカラ。 然シ

皆■(練?俺?)達、弱ニハサセナイ。 基地ニ於ケル大ナル作業ノ

一ツダ。

夕方少シ晴レタガ又曇リ。 明日ハト案ズル。

明日ハ基地撤退ダ。

昭和十六年十一月十四日
 昨日の飛行記録
 午前、飛行作業。爆撃
 午後、爆撃二出テ其ノ儘母艦ニ収揚
 十二時半出港シタガ、二時頃、全機帰ッテ来タ。
 四時カラ揚収ダトノ事、又三時半頃発進。
 十二名陸航員デ飛行機ハ母艦ニ帰ルシ
 呑氣ニヤッテ居ル。外出令待ッタガ遂ニナシ……。
 芋堀ニ出タ人モ居ル。
 六日カラ来タ笠ノ原飛行場モ今日ハ撤退ダ。
 陸航員ハ今晚ハ静カニ畳ノ上デノ最后
 寝ニ就ク……。

昭和十六年十一月十四日

於笠ノ原飛行場

昭和十六年十一月十五日

於古井(江)ノ沖

昭和十六年十一月十五日
 七時半、笠ノ原飛行場出港。
 古井ニ向フ。艦隊最初ノ基地訓練ノ
 母艦モ遂ニ後ニシテ
 母艦ハ古井ノ沖ニ入港シテ我等ノ帰ヲ待
 ツテ居ル様ダ。
 有テ乗来シタ古井ノ沖ニイ基ヤ物件ノ整理
 午後四時、古井江ヲ出港……佐伯湾ニ向フ。
 午後、整備作業。

昨日心配シタ天氣モ秋晴ダ。
 午前、飛行作業。爆撃

午後ハ爆撃二出テ其ノ儘母艦ニ収揚。

十二時半出港シタガ、二時頃、全機帰ッテ来タ。

四時カラ揚収ダトノ事、又三時半頃発進。

十二名陸航員デ飛行機ハ母艦ニ帰ルシ

呑氣ニヤッテ居ル。外出令待ッタガ遂ニナシ……。

芋堀ニ出タ人モ居ル。

六日カラ来タ笠ノ原飛行場モ今日ハ撤退ダ。

陸航員ハ今晚ハ静カニ畳ノ上デノ最后

寝ニ就ク……。

七時半、笠ノ原飛行場出港。

古井江ニ向フ。艦隊最初ノ基地訓練ノ

母艦ハ古井江ノ沖ニ入港シテ我等ノ帰リヲ待

ツテ居ル様ダ。

直チニ乗艦シタ。午前ハ忙シイ基地物件ノ整理。

午後、整備作業。

午後四時、古井江ヲ出港……佐伯湾ニ向フ。

昭和十六年十一月十六日 於佐伯湾

昨日古井江出港以来、一晩航行シテ午後二時頃佐伯湾ニ入港シタ。

午前、整備作業。機銃手入。

艦爆艦戦モ全部收容シテ飛行機ハ満載ダ。

午後、整備作業。

〇〇ニ向フノカ私物ハ全部陸上デ有ル。此ノ程迄ニ緊張力。貯金通帳ノ整理迄……。

佐伯湾ノ第一夜……。

昭和十六年十一月十七日 於佐伯湾

行先不明ノ母艦モ昨日佐伯湾入港シタ。

静カナ碇泊中……、六時起床……、清々シイ氣分デ通拜終ッテ体操。艦内デハ空氣ガ悪イガ、朝ノ斯ノ氣分ダケハ母艦ニノミ知り得ル心地デ有ル。

午前整備作業、爆撃投下器ノ整備。

午後、電信機整備。

全ク〇〇ニ行クノ準備デ有ル。兵器ハ萬事此レデオーケート云フ譯ダ。燃料補給モ行ツタ。

各艦全ク整備ノ状態デ佐伯湾ニ巨体ヲ浮ベテ居ル。

昭和十六年十一月十六日

於佐伯湾

昨日古井江出港以来、一晩航行シテ午後

二時頃佐伯湾ニ入港シタ。

午前、整備作業。機銃手入。

艦爆艦戦モ全部收容シテ飛行機ハ

満載ダ。

午後、整備作業。

〇〇ニ向フノカ私物ハ全部陸上デ有ル。此ノ程

迄ニ緊張力。貯金通帳ノ整理迄……。

佐伯湾ノ第一夜……。

昭和十六年十一月十七日

於佐伯湾

行先不明ノ母艦モ、昨日佐伯湾入港以来

静カナ碇泊中……、六時起床……、清々シイ

氣分デ通拜終ッテ体操。艦内デハ空氣ガ

悪イガ、朝ノ斯ノ氣分ダケハ母艦ニノミ知り得ル心地

デ有ル。

午前整備作業、爆撃投下器ノ

整備。

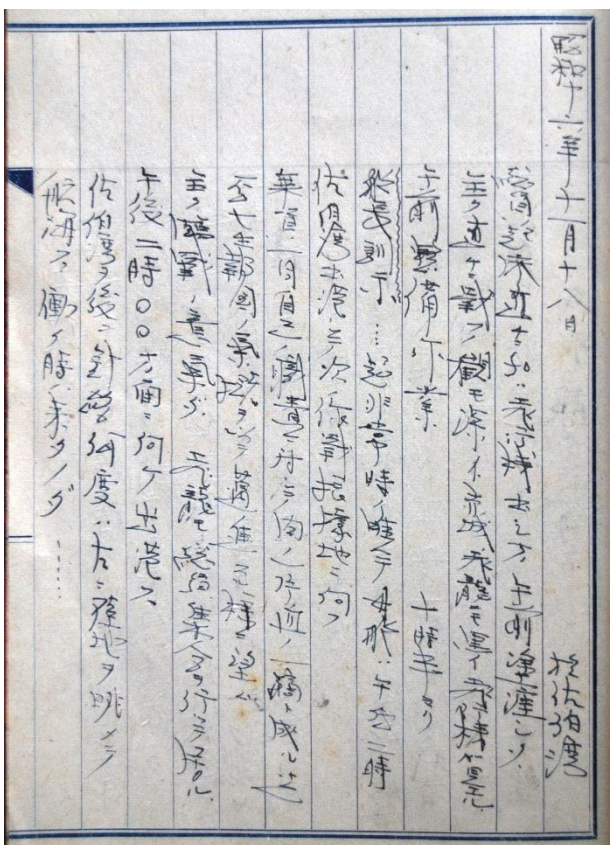
午後、電信機整備。

全ク〇〇ニ行クノ準備デ有ル。兵器ハ萬事此レデ

オーケート云フ譯ダ。燃料補給モ行ツタ。

各艦全ク整備ノ状態デ佐伯湾ニ巨体ヲ

浮ベテ居ル。



昭和十六年十一月十八日

於佐伯湾

総員起床、直チニ fo ハ飛行機出シ方。午前塗粧 (?) シタ。

全ク直チニ戦フノ観モ深イ。赤城、飛龍ニモ黒イ飛行機が見エル。

午前、整備作業。 十時半ヨリ

艦長訓示……、超非常時ノ唯ヘテ母艦ハ午后二時

佐伯湾出港シテ次ノ作戦根據地ニ向フ。

乗員一同、自己ノ職責ニ対シテ肉ノ一片、血ノ一滴ト成ル迄、

否、七生報国ノ氣概ヲ以テ邁進スル様ニ望ム。

全ク臨戦ノ意氣ダ。飛龍モ総員集合ヲ行ッテ居ル。

午後二時〇〇方面ニ向ケ出港ス。

佐伯湾ヲ後ニ針路何度ハ左ニ陸地ヲ眺メテ

航海ス。働ク時ハ来タノダ……

艦長……

柳本柳作大佐 (兵 44 期)

昭和 17 年 6 月 5 日 蒼龍 ミッドウエー海戦にて
戦死

出航ノ時
十一月十八日午後二時
午前十時半ヨリ
艦長ノ征戰ヘノ暗示的ナ訓示ニ乗員緊張シタ
今迄は痛ム加ヘ猛訓練主トシテ痛ム收斂スル
出航ハ佐伯灣ヲ後ニ何處ヘカ針路ヲ動ル
時ニ艦長・重巡・赤城・加古・古賀・島田・清洲
ハヲオビ何處ヘ行カ 夜半ノ頃
北陸海靜ニ年板ニアルト主ト時夜 征戰ノ航海
デ有ル艦モ一入浮イ内ノ片血ノ痛デモ必ズ職責
ヲ負ヒテ日本國威ヲ益シテ揚スガ事ハ人ノ此レ
ヲ任務ダ 征戰!! 征途!! 我等ノ心ハ勇躍
スルノダ 我ガ艦ハ静カニ航海スル……

出航ノ時

時!! 十一月十八日午後二時。 午前十時半ヨリ

艦長ノ征戰ヘノ暗示的ナ訓示ニ乗員緊張シタ。

今迄、整備ニ加ヘル猛訓練、全クノ完備状態デアル。

出航!! 佐伯灣ヲ後ニ何處ヘカ。母艦ハ針路ヲ就ル。

続ク飛龍ニ重巡クラス。赤城ハ既ニ正午出航、姿ヲ消シタ。

任ヲオビ、何處ヘ行クカ。 夜半ノ頃

巡檢後、静カニ上甲板ニ出ルト全ク暗夜。 征戰ヘノ航海

デ有ル觀モ一入深イ。肉ノ一片、血ノ一滴デモ必ズ職責

全ウシテ帝國ノ國威ヲ益々発揚スルガ我々軍人ノ此レカ

ヲノ任務ダ。征戰!! 征途!! 我等ノ心ハ勇躍

スルノダ 我ガ艦ハ静カニ航海スル……

昭和十六年十一月十九日 曇後雨
昨日出航以來、艦ハ〇〇ニ向ッテ居ル。
午前八時、皇居伊勢神宮遙拝。
午後五時、皇居遙拝。行ハタシテ事ヨリモ征戰ノ
遥拝ヲ有ツ佐伯灣本港ニ上リテ是レハ事モ明カ
ニ成リタ。少シ其天氣味デ有リ勇マシイ
午前、防火防水部署教練說明
午後、防火防水部署教練
別科、揮発油、燃料ノ取扱説明
行ク先ハ千島列島ノ單冠灣ト明瞭ニ成リ
テ戰フ日ハ何時カ。我等ハ待ツ。其ノ聖戰戰ノ日
ヲ……、日本帝國ニ必ズ勝アリ……

昭和十六年十一月十九日

曇後雨

航海中

昨日出航以來、艦ハ〇〇ニ向ッテ居ル。

午前八時、皇居伊勢神宮遙拝。

午後五時、皇居遙拝ガ行ハレタ事ヨリモ征途ヘノ

遙拝デ有ツタ。佐伯灣出港以來、北上シテ居ル事モ明白

ニ成ツタ。少シ荒天氣味デ有リ勇マシイ。

午前、防火防水部署教練說明

午後、防火防水部署教練

別科、揮発油、燃料ノ取扱説明

行ク先ハ千島列島ノ單冠灣ト明瞭ニ成リ

テ戰フ日ハ何時カ。我等ハ待ツ。其ノ聖戰戰ノ日

ヲ……、日本帝國ニ必ズ勝アリ……

昭和十六年十一月二十日
航海中
昨日ノ航海ニ本當ニ痛シクシテ、少しガブル様ナ
有ル。食事も悪イ。
午前、曳航補給。機銃手入。
午後、配置教育。
〇〇ニ針路ヲ就テ、総テニ二晝夜以上、夜半
奥羽地方ノ東方ヲ走り続ケルノダ。
出港當時ハ暑イト感ジタ艦内モ総デニ寒サヲ
感ジル様ニ成ツタ。益々寒サモ加ハルト云フ譯デ
有ル。北ニ来テノ生活モ最初ダ。面白イ事モ有ル
デ有ロウ。待ツ根據地ノ軍艦旗。輝ク
ヲヤイ(ヤイ?).....

昭和十六年十一月二十日

航海中

昨日ノ航海ニ本當ニ痛(疲?)レテシマッタ。少しガブル様
有ル。氣分ガ悪イ。

午前、曳航補給。機銃手入。

午後、配置教育

〇〇ニ針路ヲ就ッテ、総テニ二晝夜以上、夜半
奥羽地方ノ東方ヲ走り続ケルノダ。

出港當時ハ暑イト感ジタ艦内モ総デニ寒サヲ

感ジル様ニ成ツタ。益々寒サモ加ハルト云フ譯デ

有ル。北ニ来テノ生活モ最初ダ。面白イ事モ有ル

デ有ロウ。待ツ根據地ノ軍艦旗。輝ク

ヲヤイ(ヤイ?).....

昭和十六年十一月二十一日
航海中
天候悪化ヲ豫想シテ居タガ案外平穩ナ航海デ
有ル。食事モウマク食ヘタ。
午前ハ一時間程通信ノ卓上訓練ガ有ツタ。終ッテ
艦尾ニ上ゲタ風ニ対シテ機上射撃ヲシタ。少しハ命中
スルラシイ。四名程デ風ハ海中ニ落下シタ。
午後ハ部署教練……、搭乗員室デ休ムノガ配置ニ
就ケノ際ノハ非常ニ呑氣ナ教練ダ。
目的地ニモ愈々近ク成ツタノダ。非常ニ寒氣モ増シタ。
冬ノ貸与品ニ体ヲ固メタ様ナ調子デ有ル。
明日ハ愈々入港ダ。サテ次ノ作業ハナンデアロウ。
日米關係ハ如何ニ動イテ居ル事ダロウ(?).....

昭和十六年十一月二十一日

航海中

天候悪化ヲ豫想シテ居タガ案外平穩ナ航海デ
有ル。食事モウマク食ヘタ。

午前ハ一時間程通信ノ卓上訓練ガ有ツタ。終ッテ

艦尾ニ上ゲタ風ニ対シテ機上射撃ヲシタ。少しハ命中

スルラシイ。四名程デ風ハ海中ニ落下シタ。

午後ハ部署教練……、搭乗員室デ休ムノガ配置ニ
就ケノ際ノハ非常ニ呑氣ナ教練ダ。

目的地ニモ愈々近ク成ツタノダ。非常ニ寒氣モ増シタ。

冬ノ貸与品ニ体ヲ固メタ様ナ調子デ有ル。

明日ハ愈々入港ダ。サテ次ノ作業ハナンデアロウ。

日米關係ハ如何ニ動イテ居ル事ダロウ(?).....

[illegible]

第三回 戒壇泊... 船中モ多金用盡シテ泊ル
 此洲ニテ一島。武生ノ傭ハ有リノ威テテ、テ、ツササ
 米國ノ如ク。日ヲ金銀ノ十二月ニ一旦、薩摩ヲトトツ
 拜ナ時、待ツナトテ、長ク... 防塞、客ニ功成。
 ミツク、ノ、牛モ多ク、馬モ多ク、
 此島、薩摩ノ威、以、腰、ハ、拜、ナ、有、ル、日、キ、金、銀、
 ノ、次、テ、長、ク、一、年、ヲ、戦、以、テ、介、ツ、カ、... 金、モ、長、ク、キ、ル
 拜、ナ、威、カ、ス、ハ、ロ、ノ、下、面、介、ツ、カ、你、戦、信、塚、地
 ナ、リ、又、今、一、年、戦、信、塚、地、介、ツ、カ、拜、ナ、戦、ツ、日、モ、近、ク、ナ
 一、カ
 武、生、モ、一、年、ノ、上、ヲ、待、テ、靜、ニ、待、テ、ス、キ、カ、ス、カ、
 武、生、ノ、心、...

昭和十六年十一月二十二日

於單冠灣

「総員体操用意」デ飛行甲板ニ出ルト、雪ニ眞白ナ

千島ノ姿ガ見エル。吹キ来ル風モ冷イ。然シ十一月二見ル

北國ノ景色モ美シイ。午前、高角砲射撃二風ノ機

銃射撃。午前十一時頃、單冠灣ニ入港シタ。雪ヲ

戴ク北（此？）ノ島デ唯々無人島ノ様ナ姿デ有ル。海上モ冷イ様デ

大キナウナリガ有ルノミダ。午后、大掃除。

三時三十六分、軍艦旗卸シ方。北極ニ近イ、日没モ非常ニ早イ。

別科前二日没ヲ見タノモ最初ダ。四時頃二ハ眞暗ニ成ル。

此処が目的地だツタノカ。然シ何等急ヲツゲル所ト思ハレン。

米國モ近イ。敵機来ラバ来レ。戦艦クラスニ赤城、加賀、

飛龍モ巡洋艦、駆逐艦ト、戦フ備ヘモ固シ……。

第三警戒碇泊……、舷窓ヲ完全ニ閉鎖シテ居ル。

此ノ淋シイ千島ニ、我ニ此ノ備ヘ有リノ威容ヲ示スガサテ

米國ハ如何ニ。日米會談ハ十二月ニ其確定ヲ見ルト云フ

様ナ時、待ツ十日余モ長イ……、防寒ノ姿ニ哨戒ニ

立ッ人々ノ苦モ容易デ無イ。冬の飛行服ヲ借用

シタガ話ニ依ルト戦場ハ暖イ所ノ様デ有ル。日米会談

ノ狀況ヲ見上（見た上？、見定め？）、直チニ戰場ニ向フノカ……、

話モ長スギル

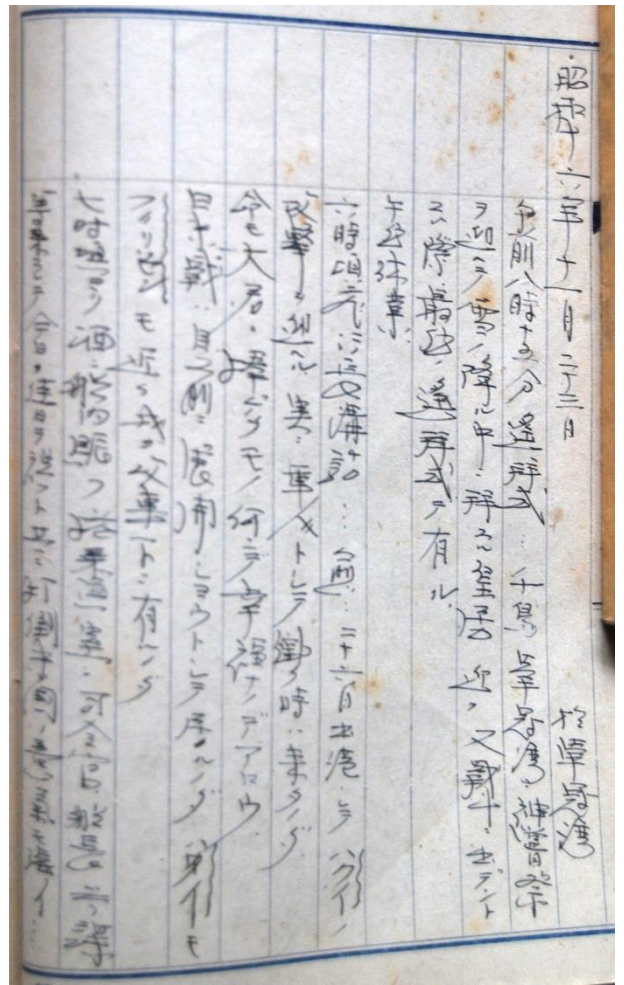
様ナ感ガスル。ハワイノ方面ニ向フノ力作戰根據地

カラ又次ノ作戰根據地ニ向フ様デハ戰フ日モ近クナ

イノカ…。

北二明日ノ日ノ出ヲ待ツテ静カニ待機スル我が艦、

我が心……



昭和十六年十一月二十三日

於單冠灣

午前八時十五分遙拝式。 千島單冠灣神嘗祭（新嘗祭）

ヲ迎ヘテ雪ノ降ル中ニ拝スル皇居。 近ク又戦斗ヘニ出デント

スル際、最后ノ遙拝式デ有ル。

午后、休業。

六時頃、飛行長講話……、愈々二十六日出港シテハワイノ

攻撃ヲ迎ヘル。 実ニ軍人トシテ働ク時ハ来タノダ。

命モ大君ニ捧ゲタモノ。 何ンテ幸福ナノデアロウ。

日米戦ハ目前ニ展開シヨウトシテ居ルノダ。 ハワイモ

フィリピンモ近ク我が攻撃下ニ有ルノダ。

七時頃ヨリ酒ニ艦内賑フ。 搭乗員室ニ司令官、艦長、参謀

等ガ来ラレテ、今日ノ佳日ヲ祝フト共ニ打倒米国ノ意氣モ張イ……

飛行長……

司令官……

参謀……

楠本幾登中佐（兵 52 期）

昭和 19 年 8 月 10 日 755 空 グラム島

山口多聞少将（兵 40 期）

昭和 17 年 6 月 5 日 ミッドウェー海戦にて飛龍とともに沈没戦死

2 航戦の首席参謀・伊藤清六中佐（兵 49 期）か航空参謀・鈴木榮二郎中佐（兵 52 期）か？